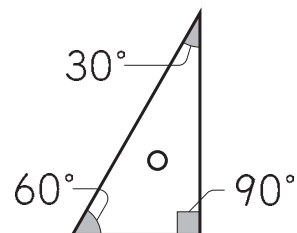


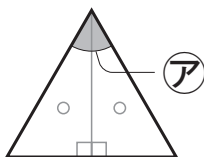
5

右のような、 30° 、 60° 、 90° の角をもつ三角定規があります。

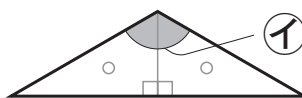
この三角定規を2枚使って、同じ長さの辺をあわせて、次の3種類の図形をつくりました。



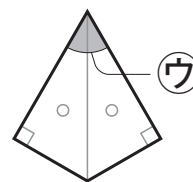
① 正三角形



② 二等辺三角形



③ 四角形



先生

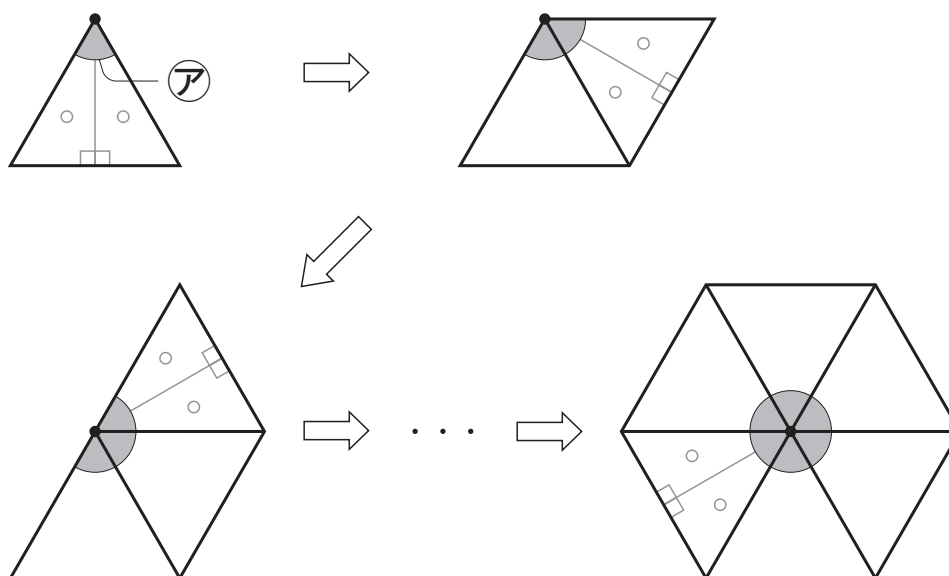
これらの図形の中から1種類を選んで形をつくります。

①、②、③のそれぞれの角が1つの点のまわりに集まるように、選んだ図形を並べていくと、どのような形ができますか。



ゆうた

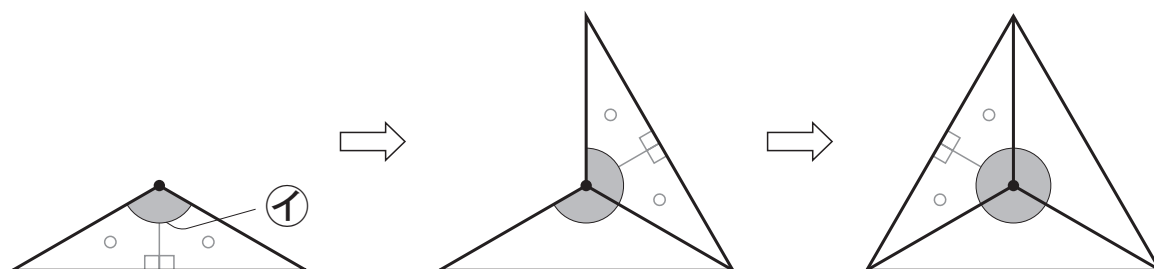
①の角が1つの点のまわりに集まるように、①の正三角形を並べていくと、6つで、正六角形ができました。



(1) 次に、下のように、②の二等辺三角形を選んで形をつくります。



①の角が1つの点のまわりに集まるように、②の二等辺三角形を並べていくと、3つで、正三角形ができました。



どうして3つでぴったりつくることができるのでしょうか。



$360 \div 120 = 3$ で、商が3になり、わり切れるからです。



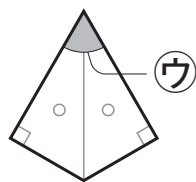
そうですね。

では、 $360 \div 120$ は、どのようなことを計算している式ですか。説明してみましょう。

$360 \div 120$ は、どのようなことを計算している式ですか。

言葉と数を使って書きましょう。その際、「360」と「120」が何を表しているかがわかるようにして書きましょう。

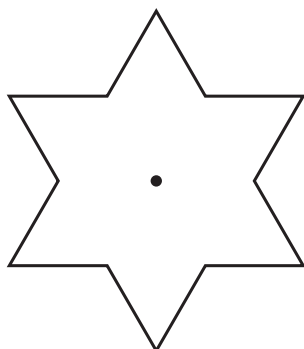
(2) 今度は、③の**四角形**を選んで形をつくります。



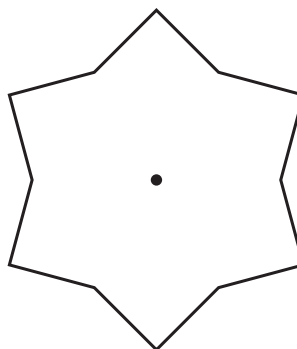
⑦の角が1つの点のまわりに集まるように、③の**四角形**を並べていくと、6つで、ある形ができます。どのような形ができますか。

下の **1** から **4** までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

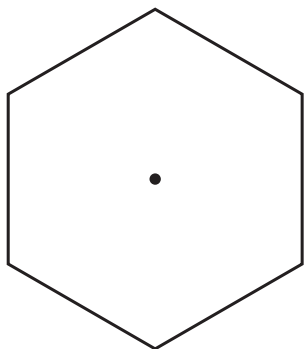
1



2



3



4

